

星の子だより

第19号 2015年6月発行
 東北大学病院病後児保育室
 星の子ルーム

「星の子ルーム」は、全国の大学に設置されている病後児保育室の中で最も歴史が長いことをご存じですか？
 今年(平成27年)で開設15年目となります。

この間、医学部教室委員会会員のボランティア運営から大学病院の運営に移行し、それに伴い保育士と看護師が増員され、星陵地区職員・学生のみを対象が全学に拡大し、いまでは大学病院小児科での事前診察も可能となりました。平成27年5月からは、非常勤講師も大学勤務中ならば利用できるようになっています。年々利用者は増加傾向を示し、平成26年度はのべ575人と過去最高となりました。この星の子だよりも、刊行して7年目を迎えました。

「星の子ルーム」が子育てと仕事の両立における”一つの支え”となれるように、実務者委員会で月に一度保育室の課題を検討しています。星の子ルーム専任保育士と看護師は、夏に開催される全国病児保育研究大会に毎年参加し、研鑽を積んでいます。うちスタッフ2名は試験に合格し、病児保育専門士の資格を有し、プロ意識をもってお子さんをお預かりしています。

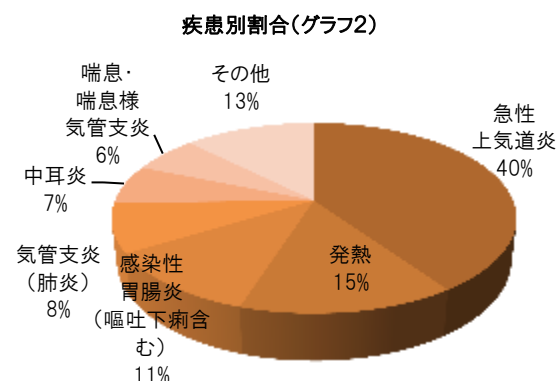
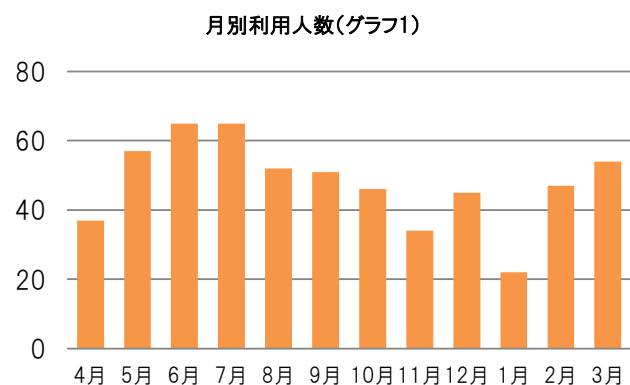
15年の歴史に恥じないような取り組みを今後も心がけていきたいと思います。どうかこれからも、星の子ルームにご理解と応援をよろしくお願いいたします。

福與なおみ(遺伝子診療部)
 病後児保育室運営委員会・実務者委員会委員
 東北大学病院女性医師支援推進室副室長

昨年度の利用状況

平成26年度の星の子ルームの利用状況をお知らせいたします。

1年間の利用人数は575人で1日平均2.34人となり、満員になった日は7日間(2.8%)でした。昨年度は春先から秋にかけての利用が多くなりました。(グラフ1)。季節を問わず急性上気道炎と発熱のお子さんが多く、半数以上を占めていました。(グラフ2)



星の子ルームの一日



朝、入室時にスタッフがお家での様子を詳しくお伺いします。



日中は一人一人の体調に合わせて、ゆったりと過ごします。



楽しいお昼ご飯の時間です。野菜中心に素材を生かしたメニューになっています。



お昼寝をして、身体をゆっくり休めます。元気になりますように！

当保育室は看護師2名、保育士2名で対応しています。体調がすぐれず、普段とは違う環境に不安を抱いている子どもたちが、一日安心して過ごすことができるよう心掛けて保育看護をしています。4名とも子育て経験者ですので、病気のことはもちろん、子育てに関することなど遠慮なくご相談ください。

お知らせ

☆初めてのご利用☆

事前登録は必要ありません。電話などで予約の上、利用当日に「登録票」「利用申込書」「こどもカルテ」「かかりつけ医連絡票」をご持参ください。(書式は下記HPから入手できます。)

☆かかりつけ医連絡票☆

かかりつけ医連絡票の有効期限は、処方期間及び次回受診日までとなっております。処方なし、次回受診の予定がない場合は最大で7日間までです。

☆学生実習のご協力をお願い☆

今年度4月より小児科の臨床実習の一貫として、当保育室で本学医学部5年生がスタッフとともに保育の介助をさせていただくことがあります。どうかご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



◎予約・問い合わせ 022(717)7819

◎メールアドレス hoshinoko@grp.tohoku.ac.jp

◎ホームページ <http://www.morihime.tohoku.ac.jp/hurdling/hoshi.html>